

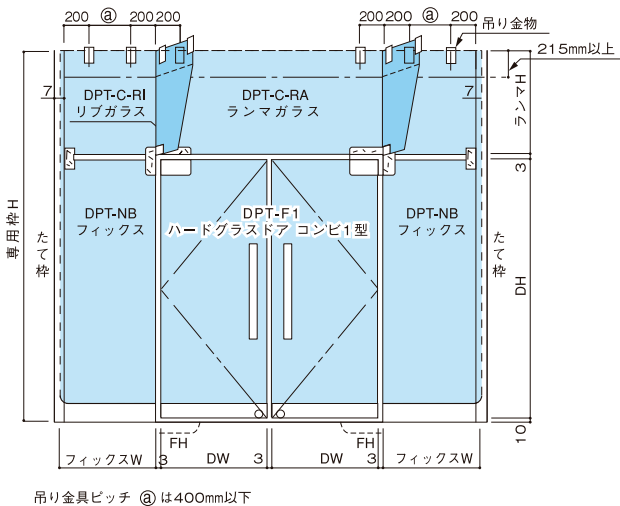
## カーテン方式

### ガラススクリーンで透明感あふれる開口部を構成

カーテン方式とセミカーテン方式は、ガラス素材の特性である透視性を最大限に活かした、最もポピュラーなガラススクリーンの工法です。目ざわりな金属の方立や無目などを使用せず、最小限の金属を用いて強化ガラスを支持。クリアで美しい開口部が構成できます。さらに、ハードグラスドアの〈コンビタイプ〉や〈コーナータイプ〉と組み合わせれば、ガラス面積をワイドに設計できるだけでなく、統一感のある開口部に仕上げることができます。



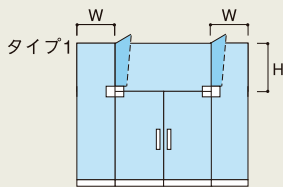
#### カーテン方式



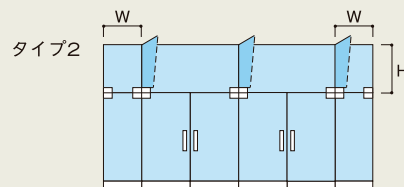
ランマ部分にリブガラスを配するため、構造的に面剛性が大きく、比較的大きな開口部に使用されます。また、ランマガラス、リブガラスは上部の構造材もしくは下地鉄骨から天井ふところ内部で、専用金具で吊り下げる方式になっています。



#### 種類とサイズ制限

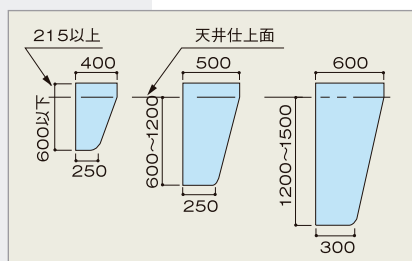


タイプ1  
 フィックスW + ランマH ≥ 1200mm  
 ただし ランマH 300mm以下の場合  
 フィックスW + ランマH ≥ 1500mm



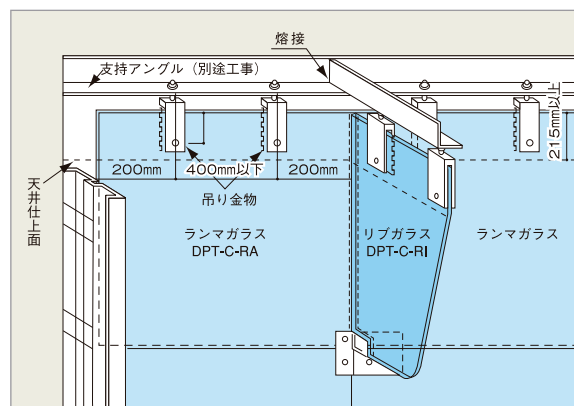
タイプ2  
 ただし、W・H共1500mm以下とする。

#### リブガラスの基準寸法



● 強化ガラス (標準)  
 強化ガラスをセットした安全設計ドアです。割れにくく、万が一割れても安全です。

#### 構造 (カーテン方式)



#### 各部ののみこみ寸法

部	位	のみこみ寸法
カーテン方式	ランマ上部	215mm以上
	リブ上部	

#### ■ ご注意

- ガラス間のクリアランスは厳密に守ってください。
- カーテン方式では、ランマ及びリブガラスの天井のみこみ寸法215mm以上、吊り機構用のスペースを含めると約325mm以上の天井の内ふところが必要です。
- 吊り金具の穴ピッチは300~400mmとし、リブガラスも2個の吊り金具で支持します。